

古賀市議会議員 子どもたちの夢がかなうまち

森 まき

2023年10月 vol.02

NEWS

〒811-3114

古賀市舞の里2-15-21

TEL/FAX 092-944-3773

森まき
Facebook**9月（8/29～9/27）議会 議案と一般質問****医療費を無償化
18歳まで**

2023年3月議会で本年10月から6歳までの子ども医療費の無償化に続き、2024年4月から対象年齢を18歳までとする条例改正のほか、この実施に必要なシステム改修の予算補正を行いました。（県内では5例目福岡市圏域では初）

今回の提案について「本来国が責任を持つべきもの」であるが、誰もが安心して子どもを産み育てられる社会をめざしていることから、地方から国を動かしていきたいとその理由を示しました。

私は、少子化が進む中子育て支援に大切であり、今回の条例改正で必要になる財源（8,000万円程度）を保障する財源確保にしっかり取り組むよう求めて賛成しました。

**教育支援センター
『あすなろ』移転その後**

いよいよ2023年11月1日より教育支援センター『あすなろ教室』と米多比児童館が『古賀市青柳町801』へ移転します。

私は6月議会の一般質問で教育支援センターへ通う子どもたちのため、『クロスパルこが』の無料巡回バス利用について訴えました。

その後、『クロスパルこが』の指定管理者と協議中で、利用を希望する子どもたちが確認できれば実現も可能との回答がありました。

**『森まき』とおしゃべり
しませんか？****11月18日（土）13：30～
リーパスプラザ古賀303**

古賀市のこと、身近なお困りごと、議員ってどんな仕事？など森まきとおしゃべりしませんか？

予約不要、大人も子どももどなたでも大歓迎です。小さなお子さんもぜひ一緒にどうぞ。皆でたくさんお話ししましょう。



森まきFacebook



補正予算・物価高騰対策などへ支援

子どもの医療費無償化や物価高騰の対策として、システム改修・子育て支援のための予算補正を行いました。



子ども医療費無償化システム改修

2024年4月の18歳までの子どもの医療費無償化の条例改正に伴い、子ども医療システムの改修等を行います。

0歳から2歳に子育て支援ギフトカード

物価高騰対策として、0歳児から2歳児（令和3年4月2日～令和6年4月1日生まれ）の保護者に子ども一人当たり1万円のギフトカードを支給します。

2022年度決算を認定・決算額297億円

9月議会では2022年度の決算審査を行いました。
一般会計決算は**297億2千万円**で（当初予算：**248億7千万円**）過去最大の決算となりました。



2022年度決算・厳しさ増す財政

2022年度の決算総額は408億円で、この内一般会計の歳入は297億円。歳出と翌年度への繰越を除く収支は15億円の黒字でした。翌年度への繰越額と前年度からの繰越額を除いた単年度収支は6億9千万円の赤字でした。

財政状況は社会保障経費の増加などから厳しくなるが、「大きな事業に着手する余力はある」としています。

一般会計収支比較（単位100万円/切り捨て）

	2022年度	2021年度	増減額
① 歳入額	29,722	27,390	2,332
② 歳出額	28,132	25,185	2,947
③=①-② 歳入歳出差引額	1,590	2,205	▲615
④ 翌年度へ繰越す額	167	92	75
⑤=③-④ 実質収支	1,423	2,113	▲690
当年度⑤-前年度⑤ 単年度収支	▲690	613	▲1,302



市の歳入・歳出



市債と基金

市債（借金）残高は**151億円**（前年度比7億円増）

市民1人当たり**25万5千円**

基金（貯金）残高は**83億円**（前年度比14億円増）

市民1人当たり**14万円**

となっています。



一般会計歳入と歳出

歳入 297億円

基金からの繰入金、市債などの増加、国庫支出金、地方特例交付金の減などで、前年度比23億円（8.5%）増加。

歳入で最大の市税は、市民税、固定資産税が増加し73億円となりました。

歳出 281億円

前年度比29億円（11.7%）増加、主なものは汚泥再生処理センター工事費、千鳥小・古賀中学校の施設改修工事費によるものです。



森 まきの一般質問

子どもたちの成長・発達においてとても重要な役割を担っている「食」と「遊び」。「食」に関連する給食や子ども食堂、また「遊び」に関連する昼休みの時間短縮や放課後子ども教室の現状や課題について質問しました。

「食」に関する質問

森 学校給食での残食どのような状況か。
給食センター所長 令和4年度で一日当たり小学校で約140kg、中学校は90kgほどである。

森 牛乳はどうか。
給食センター所長 小学校で一日当たり100本、中学校では40本程度である。

森 福岡市では牛乳は診断書が無くても、学校が用意した書類を保護者が提出すれば、校長の判断で停止されている、食品ロスという面でも「選択制」も検討してはどうか。

教育部長 アレルギーの検討はしているが、提案を検討していきたい。



楽しく食べて元気に遊ぼう

森 給食の食べ残しはリサイクルハウスで堆肥化されています。子ども食堂や福祉施設と連携し食品ロス軽減へ検討してはどうか。久留米市は子ども食堂の運営に冷蔵設備なども支援している、こうした設備を整えばパンや牛乳などの食品ロス対策も同時に進むのではないかと。

市長 子ども食堂を運営されている方にどのような支援ができるか提起を受け止め考えたい。

森 給食時間は準備から片づけも含まれ、**食事の時間は15分程度**で、実質給食時間にもなっている昼休みを更に短くすると聞く、給食の目的は保障できるのか。

教育長 準備時間を極力短くできるよう実態を見て決めたい、意見は校長会にも伝える。



「遊び」に関する質問

森 『放課後子ども教室』は「地域住民が中心となつて行う事業」とされている、地域住民の参加にはどう取り組まれているか。

青少年育成課長 地域の回覧等で募集する等、校区によって様々な取り組みがされている



森 『放課後子ども教室』と「学童」との連携も目標とされているが、連携が解消されたところ、学校外での活動のため、連携ができない所もある。

青少年育成課長 放課後の子どもの居場所作りに放課後子ども教室は大きな役割を担っているが、学童保育所、児童館、児童センターや地域の活動等もある。さまざまな活動で子どもたちの居場所作りをすることが大切だと考えている。



森 熱中症対策や働き方対策という理由で子どもたちの昼休みが短くなり、子ども教室の開始時間なども変わり、支援する地域の方の対応も難しくなっている、もっと子どもたちの現状を見て対応すべきではないか。

青少年育成課長 積極的に地域と連携を取りスタッフが確保できるように努める。

森 前回の質問の後様々なご意見を頂いている。「子どもたちの夢がかなうまち」となるよう取り組んで頂きたい。市長・教育長の見解をお聞きしたい。

市長 地方自治体として主体的にできることを積極的にやっている。チルドレンファーストを掲げており、今日の提起も受け止め、誰もが産み育てやすく、子どもが健全に育つまちづくりを教育委員会と共に進めたい。

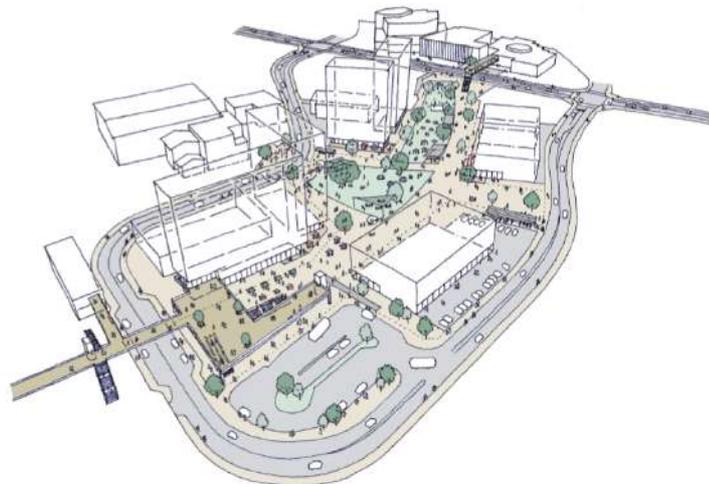
教育長 働く保護者の応援という事も含め、給食時間や休み時間など総合的に学校側と協議をしながら進める。

『リーパスプラザこがリニューアルに向けたシンポジウム』

安永秀樹さん（熊本県菊池市立図書館館長）
と西村浩さん（建築家及びクリエイティブディレクター）による愛のあるまちづくりのお話を伺いました。

議会はJR古賀駅周辺開発調査特別委員会を行っています。

『開発』ではなく当事者によるワクワクするまちづくり、まちのリノベーションとして考えていけたらと思います。



『JR古賀駅東口のイメージ図』

中学校サロン

スタッフとしてたまにお手伝いに行っている中学校サロン。各中学校の空き教室を借りて開かれるサロンには未就学児の親子がたくさん遊びに来ます。

古賀東中学校では授業交流として行われています。



8月19日『おしゃべり会』

リーパスプラザで『おしゃべり会』をしました。困っていること、こうだったらいいな…等々色々なお話が聞けました。

今後、議会や委員会で声を上げていこうと思います。ご参加ありがとうございました。



HUGっこ 子ども食堂「たまりんば」

子どもたちの食事と居場所作りに取り組んでいます。

福津市神興小学校では子ども食堂をPTA活動として

行い、**地域・学校・家庭の連携と協働**で取り組まれていると話を聞きました。

子どもたちを取り巻く環境や子どもたちとの関わり方など地域全体で考えられるように支援に取り組めます。

「たまりんば」公式アカウント

食材の提供、ご支援はこちらまで⇒



千鳥駅前整備始まる

JR千鳥駅東口の整備が始まりました。

通勤時や雨天時などに混雑し、整備が求められていましたが、狭かった道路の整備が進んでいます。駅前広場は埋蔵文化財の調査後整備に着手の予定です。



職場での困りごと悩みごとなど1人で悩まずここへ相談

まずはお電話で。

ふくほくユニオン

☎092-719-1980

(相談無料)